

シラバス参照

履修年度	2020
担当教員	大島 吉郎
連番	11310047301
曜日・時限・開講期	金曜日 4時限 前期
期間	前期
授業形態	講義
分野系列	(共通選択必修科目)
学年	2年生
単位	2
講義名	中国現代文学概論A
開講キャンパス	東松山
備考	https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html
最終更新日	2020/03/07 16:22

授業の概要 (Outline of course)	清朝末期における政治改革と文学の関係から、新文学(白話)文学運動、現代文学の目覚め、魯迅を中心とする1920年代の主要な作家と文学運動の変遷、1930年代における現代派、都市文学、国防文学論争、毛沢東『文芸講話』が及ぼした文学活動への影響などを中心に授業を進める。	
授業の到達目標 (Attainment targets of Course)	1) 中国近現代史と中国現代文学史の相対的関係を理解する 2) 清末から民国時期における中国文学の流れを理解する 3) 近代国家への歩みと文学の政治的関係についての理解を深める	
授業の形態 (Course method)	講義形式で行います。しかし単なる座学ではなく、活発な質疑応答(双方向)を基本とします。	
授業計画 (Class schedule)	回数	担当教員
	第1回(Day 1)	大島吉郎
	第2回(Day 2)	大島吉郎
	第3回(Day 3)	大島吉郎
	第4回(Day 4)	大島吉郎
	第5回(Day 5)	大島吉郎
	第6回(Day 6)	大島吉郎
	第7回(Day 7)	大島吉郎
	第8回(Day 8)	大島吉郎
	第9回(Day 9)	大島吉郎
	第10回(Day 10)	大島吉郎
	第11回(Day 11)	大島吉郎

	第12回 (Day 12)	茅盾、巴金、沈從文、曹禺、老舍の作品を中心に	大島吉郎
	第13回 (Day 13)	1940年代の文学: 毛沢東『文芸講話』と「淪陷区」の文学	大島吉郎
	第14回 (Day 14)	胡風、郭沫若、趙樹理の作品を中心に	大島吉郎
	第15回 (Day 15)	まとめ	大島吉郎
授業外の学習 (Way of self-study)	授業で取り上げた作家、作品について、翻訳、あるいは原文でなるべく多く読むようにしてください。 授業外の学習に必要な時間は1回の講義に対して4時間。		
教科書 (Textbooks)	指定しません。講義内容に応じてプリント(中国現代文学概論)を配布します。		
参考文献など (Books for reference)	『現代中国文学辞典』東京堂出版(1985年) 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編』平成22年5月 文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』平成20年9月 『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』 中国文芸研究会編『原典で読む 図説中国20世紀文学 解説と資料』白帝社、1995年		
成績評価の方法・基準 (Assessment procedures and Standards for Academic results)	評価方法	割合	評価基準
	筆記試験	0 %	実施しません。
	実技評価	0 %	実施しません。
	レポート評価	80 %	指定された課題に基づきレポート提出を義務付けます。
	平常点評価	20 %	毎回の講義でリアクションペーパーを提出し、講義の理解度、自分の意見を確かめます。
	その他	0 %	実施しません。
履修上の注意 (Important notes for applying to the course)	(1) 中国語の教職免許取得を目指す学生にとって本科目は必須です。 (2) 中国現代文学に興味を持つ学生の履修を歓迎します。 (3) 教職必修科目です。		
連絡先・連絡方法など (Contact information/ way to contact)	y-oshima@ic.daito.ac.jp		
その他 (Others)	(1) 早い段階で中国現代文学の名作に原文で挑むことを希望します。 (2) 電子辞書、あるいは紙ベースの中日辞典は必須です。		
画像 (image)			
添付ファイル (File)			